

公表:令和6年 3月 28日

事業所:発達療育 レンテ市川

※ 児童発達支援のみの項目は(児発)、放課後等デイサービスのみの項目は(放デイ)と表記しています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			スケジュール調整の段階で抜け漏れがないかチェックをしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか		4	3	・急な欠員が出たときに利用者様のお断りが出たり、出勤の職員に負担が増え、業務が圧迫してしまっている ・急なお休みがあったときにもう少し余裕がほしい ・職員にお休みが出た際に、回せる人数が限られている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			5	2	・階段があるためバリアフリーとは言えないかもしれないが、玄関にマットを敷いたり、階段の昇降の際は子供の動きに対応できるような職員の立ち位置を意識している。 ・コーナガードが取れやすい ・現在必要なお子さんはいないが、バリアフリー化はあまり進められていない
	4	(児発)生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7				・日々の清掃や整頓、チェックを行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		2	・毎日の朝礼・終礼やケースミーティングで情報共有、意見交換を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		2	3	・実施していない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		3		・体系立てた(計画的な)研修が定期的に行いたい ・シニアセラピスト(主任)以上の職員は定期的に勉強会の機会がある
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7				・職員同士で子どもの課題について意見を出し合っている
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		1		
	12	(児発)児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7				
	13	(児発)児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		1		・グループの活動案をチームで行い、様々な意見を交換している。個別セッションの内容も職員間で相談し、意見を取り入れている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		1		・玩具や遊び方を固定しないように情報共有をしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7				・集団活動で見られた課題を個別活動で練習し、集団で活かせるようにしている
	17	(放デイ)平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3		2	2	・平日・休日で分けてはいないが課題は一人ひとりに合わせて設定されている
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		2	1	・必ずではないが必要に応じて確認している
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		1	1	・ヒヤリハットなど共有し改善に努めている
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画もしくは放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
22	(放デイ)ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4		2	1	・ガイドラインについての共有や再確認が不十分	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		1		
	24	(児発)母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		1	・時折、相談支援員の方や、他事業所の方との情報交換を行っている	
	25	(児発)移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		1		
	26	(放デイ)移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		1	2	・訪問支援も並行して行っている方は情報共有している
	27	放デイ)医療的ケアが必要な子どもを受けられる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	2		2	3	・現在は該当児童が在籍していない為不明。いつでも対応できるように職員間で認識を統一し、体制は整える必要がある。 ・受け入れ実績がない
	28	(児発)移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7				・就学前の引き継ぎ書を作成し共有している
	29	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1	1	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3		2	2	
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				
	32	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	3		3	1	・事業所内だけではペアレントトレーニングをできる人員が足りず、Webセミナー等の全社の取り組みに頼っている傾向がある
	33	(放デイ)就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		1	2	
	34	(放デイ)学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4		1	2	・今年度から放デイを実施したためまだ卒業生が出ていない
	35	(放デイ)放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1			6	
保護者への説明責任等	36	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				
	37	(児発)児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7				
	38	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				
	39	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		3	3	・Webセミナーの開催や待合スペースの開放等で交流は生まれている
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		1		
	41	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		3	1	
	42	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7				
	43	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				
	44	(放デイ)事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2			5	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	45	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	2		
	46	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	47	(児発)事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			
	48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7			
	51	(放デイ)食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	5	2		